

女性のキャリアと結婚観の変化

本研究は、女性のキャリアと男女の結婚観の変化を明らかにすることを目的として実施した。近年、結婚観の変化に対する独身率の上昇が社会的課題となっている背景として、個人の幸福を重視する価値観の広がりがあると考えられる。これにより、現代にとって結婚が「当たり前」のものではなく、人生の選択肢の一つとして捉えられるようになっていることに着目した。

本論では、日本の現代の婚姻状況や結婚観、女性の社会進出に伴う既婚女性の実態について分析を行うとともに、自身で大学生を対象に女性のキャリアと結婚に対する考えや男女の結婚観、結婚が与える影響についてのアンケート調査を実施した。その結果、社会の変化や価値観の多様化が結婚やキャリアに対する考えに影響を与えていることが明らかになった。また、若者の間では、結婚を必須とするのではなく自己実現を重視する傾向が強まっていることがわかった。

本研究を通じて、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という旧来の固定概念とは変わり、結婚は人生の選択肢であり結婚は幸福の象徴ではないという考えに変化していることがわかった。その一方で、共働き世帯の増加に伴い、既婚女性の家庭内負担が大きいという課題がいまだに残っている。そのため、今後性別役割分担意識の見直しを行う必要があるだろう。